"#私が仕事を辞めた本当の理由"からみる日本社会の変化

~女性労働の質的変化は なぜ見過ごされたのか~



3.15 (土) 10:00-12:00

フジテレビ事件の渦中、SNS上で「#私が退職した本当の理由」というハッシュタグが広がり議論を呼んでいる。多くがセクハラ被害の告発である。背後には、キャリアを積み重ねる女性の増加と意識の変化がある。しかし、21世紀に起きた女性労働の質的変化は見過ごされ、被害者は退職を余儀なくされてきた。その結果社会が被った人的資源の損失は少なく見積もっても8兆円に上る。性加害をなくし、男女平等社会の実現のために何が必要なのか。NHKの"性暴力"実態調

査アンケート(2022)の分析結果をもとに考えてみたい。

お申込み方法

https://forms.office.com/r/4duwfbq44C



● URLもしくは二次元コード より事前申し込み **■** 3月13日(木)まで



開催方法

Zoomミーティング

参加無料

講師

大沢真知子先生

日本女子大学名誉教授

南イリノイ大学経済学部博士課程修了。Ph. D(経済学)。 専門は労働経済学。ミシガン大学ディアボーン校助教授、 亜細亜大学助教授・教授を経て、2021年3月末まで日本女 子大学人間社会学部現代社会学科教授。長年、内閣府「仕 事と生活の調和連携推進・評価部会」にて、ワークライフ バランスの実現に取り組む。著作に『経済変化と女子労 働』(日本経済評論社)、『新しい家族のための経済学』(中 央公論新社)、『女性はなぜ活躍できないのか』(東洋経済 新報社)、『「助けて」と言える社会へ~性暴力と男女不平 等社会』(西日本出版社)など。